



A 試合会場レポート

試合番号 101

開催日 2019/01/12

第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会女子 会場：武蔵野の森 総合スポーツセンター

観客数： 5,064	開始時間： 10:00	終了時間： 12:15	試合時間： 02:15	主審： 木内 誠二	副審： 伊藤 薫
------------	-------------	-------------	-------------	-----------	----------

東九州龍谷高等学校

監督：相原 昇
コーチ：竹内 誠二

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

3	25	第1セット 【 00:26 】	21	2
	23	第2セット 【 00:26 】	25	
	19	第3セット 【 00:24 】	25	
	25	第4セット 【 00:30 】	23	
	15	第5セット 【 00:17 】	13	

ポイント 【】 内はセット時間
- () 内は交代選手

下北沢成徳高等学校

監督：小川 良樹
コーチ：岩崎 正人

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>	

25	平山	室岡	第1セット	大崎	野呂	21
	()	()		()	()	
	園田	合屋		高橋	仁井田	
()	()	()	()	()		
後藤	荒木	石川	宮地			
(梅津)	(黒岩)	()	()			
リベロ： 吉田		リベロ： 依田				
23	平山	室岡	第2セット	大崎	野呂	25
	()	()		()	()	
	園田	合屋		高橋	仁井田	
(原)	()	()	()			
後藤	荒木	石川	宮地			
(梅津)	(黒岩)	()	()			
リベロ： 吉田		リベロ： 依田				
19	平山	室岡	第3セット	大崎	野呂	25
	()	()		()	()	
	園田	合屋		高橋	仁井田	
()	()	()	()			
後藤	荒木	石川	宮地			
(梅津)	(黒岩)	()	()			
リベロ： 吉田		リベロ： 依田				
25	平山	室岡	第4セット	大崎	野呂	23
	(池島)	()		(梅川)	()	
	園田	合屋		高橋	仁井田	
()	()	()	()			
後藤	荒木	石川	宮地			
(梅津)	(黒岩)	()	()			
リベロ： 吉田		リベロ： 依田				
15	平山	室岡	第5セット	大崎	野呂	13
	()	()		(梅川)	()	
	園田	合屋		高橋	仁井田	
()	()	()	()			
後藤	荒木	石川	宮地			
(梅津)	(黒岩)	()	()			
リベロ： 吉田		リベロ： 依田				

<監督コメント>	

<要約レポート>

準決勝第1試合は、今年度インターハイ、国体を制覇した下北沢成徳と春高優勝経験豊富な東九州龍谷という今大会屈指の好カードである。第1セット、やや固さの見える下北沢成徳は序盤から東九州龍谷の速い攻撃にペースが合わずリードを許す。中盤に入り、下北沢成徳にリズムが出てくるも、東九州龍谷はそのままリードを保ち、このセットを制した。

第2セットも東九州龍谷伝統の速い攻撃でリズムをつかみ、終盤まで2、3点のリードを保つ。対する下北沢成徳は、マークされているエース石川、野呂をさげ、仁井田や宮地のライト攻撃でペースをつかみ、最後に逆転、このセットを取った。

第3セットは、終始下北沢成徳のペースであった。東九州龍谷の速い攻撃に、しつこくブロックに付き、それを多彩な攻撃陣が、攻め返す、という形が数多く見られた。

第4セット、東九州龍谷は、下北沢成徳のライト攻撃やセンター攻撃をよく拾い、それを室岡の速いレフト攻撃や梅津、荒木のセンター攻撃で攻め返した。途中、下北沢成徳に迫られる場面もあったが、序盤のリードを上手く生かしこのセットを制した。

最終セット、東九州龍谷が下北沢成徳のスパイクミスとブロック等で3-1となる。下北沢成徳も仁井田のライト攻撃で追いつがるが、サーブミスが出たりでなかなか追いつけない。結局、この僅差のリードを東九州龍谷が保ち、先に15点に到達した。

一般的に東九州龍谷は、下北沢成徳の重量感のある攻撃によく対応していた。下北沢成徳はエース石川や仁井田が徹底的にマークされ、苦しいゲームとなった。

作成者：高橋 亘(東京)